

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

山本芳昭議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 林業について</p> <p>①町有林 どのように収益確保の努力をされているか。緑の産業活力創生プロジェクト事業の補助で事業の経費はどの程度軽減されたのか伺う。</p> <p>②原木価格保証事業 5年の期間が満了するが今後の支援策について伺う。</p> <p>③林業成長産業化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林情報処理システム整備事業内容</li> <li>・ DWファイバー商品開発の進捗状況</li> <li>・ 日南町版担い手育成事業の内容</li> </ul> <p>等について伺う。</p> <p>2. 町営住宅について</p> <p>①住宅のニーズをどのようにとらえているか。 (世帯向け住宅整備に絡めて)</p> <p>②築20年を過ぎた物もあり年次計画での改修が必要ではないか。</p> <p>3. 高齢者福祉センターについて</p> <p>①過疎計画ではデイサービスセンター整備と</p>	<p>1.</p> <p>①日南町町有林経営基本計画に基づく経営を行うとともに、町有林管理経営審議会に諮り、その長期経営管理方針を策定している。</p> <p>②林業の成長産業化に向け、同様のシステムは必要と考えている。</p> <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥取県が提供する林地台帳原案に土地台帳、土地所有者届出等、日南町が保有するデータを補完し、林地台帳を整備して、森林情報処理システムを構築する。</li> <li>・ 実証実験によって得られた成果をもとに、商品の販売計画を策定中とのこと。</li> <li>・ 林業アカデミー整備事業と200年の森等木育整備事業を中心に事業展開を計る。</li> </ul> <p>2.</p> <p>①町が管理する住宅の空き室は12戸、民間住宅を含めて住宅需要に応じている。町内民間住宅はほぼ満杯の状況であり、中心地域の住宅ニーズは、利用実態や聞き取り調査など把握している状況からは、特に青年夫婦層の世帯用住宅の希望があると把握している。</p> <p>②住宅の点検・診断によって適切に維持管理を図り、老朽化した施設の更新に際しては規模の適正化を検討する。</p> <p>3.</p> <p>①過疎計画では、平成28年度から32年度まで</p>

<p>センターの改修が予定されている。今後の計画を伺う。</p> <p>4. CATV 整備について</p> <p>①過疎地域自立促進計画にあるCATV設備等の更新に向けての施設整備事業の内容について伺う。</p>	<p>の計画として、高齢者生活福祉センター（かすみ荘）の改修とデイサービスセンターの整備を計上している。</p> <p>高齢者生活福祉センター（かすみ荘）は、平成2年に建設（鉄筋コンクリート造）、27年が経過し、特に暖房の配管や機器等に不具合が生じており、改修には高額を要する状況である。</p> <p>一方、日南福祉会の職員不足が継続しており、事業所の集約化が必要となっている。デイサービスを1か所に集約する方向で検討されている。</p> <p>4.</p> <p>①設備更新にあたっては FTTH 化を想定し、投資的な予算状況を見ながら効率的な整備、運用を充分検討したうえで着手したい。</p>
---	---

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

古都勝人議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 農地の管理、活用について</p> <p>①かつて、今後の農地の利用等についての調査アンケートを実施されたが、その後の取り組み状況はどのようになっているか伺う。</p> <p>②5年単位の調査であったが、今後はどのように実態把握をされるのか伺う。</p> <p>③大規模農家の減少があるが、その対策について伺う。</p> <p>④県東部では、「金芽米」により作付面積がV字回復していると聞く。日南町での取り組みは検討されているのか伺う。</p> <p>⑤完全荒廃地を防ぐ対策について、どのような検討がなされているか伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①町の地域の農業について、日南町農業委員会が平成24年4月に70歳以上の方を対象にした調査を実施、同年24年10月には、日南町農業再生協議会が全農家を対象に調査を実施し、その調査結果を「日南町人・プラン」の策定に活用した。</p> <p>②日南町農業再生協議会を核として、農業委員会、中山間地域等直接支払集落協定の代表及び農事実行組合等を通じ、その実態把握に努める。</p> <p>③大規模農家への支援は継承しつつ、そうした大規模農家の負担を軽減するため、草刈りなど、何らかの形で農業に関わりを持つ農家の存在が、ムラ社会の維持には必要と考える。</p> <p>④JA鳥取西部は、伯耆町内に本年9月1日に国内最大級の「GABA米生産施設」を整備。今後、白米のおいしさに玄米の栄養を加味した贅沢なGABA米の流通販売に力を入れていくとのこと。消費者の健康志向に応えるこのJA鳥取西部の戦略に期待している。</p> <p>⑤農地パトロールをはじめ、農地の状況と所有者等の意向の把握に努め、人・農地プランに基づき、農地中間管理事業への利用権の活用をはじめ担い手等への農地集積を進め、農地の活用が継続できるよう対策を検討していく。</p>
<p>2. 観光協会の事業進捗の状況について</p> <p>①昨年、今年と観光事業や観光協会に対して、多額の支援を行ったが、現在、計画された事業の進捗はどうなっているか伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①昨年度作成した総合観光ガイドブックの活用に加え、今年度は情報の整理発信、体験型観光の開発推進、古民家等活用、観光協会の独立</p>

<p>②今後の協会の体制はどのようにされるか伺う。</p> <p>3. 連携事業の評価について</p> <p>①日野高校魅力向上コーディネーターや日野郡鳥獣対策協議会の取り組みについての評価を伺う。</p>	<p>化への準備に取り組んでいる。</p> <p>②案内窓口、事業展開等進める中で現協会職員の体制では不十分であり、検証を含め検討しているところである。</p> <p>3.</p> <p>①コーディネーターについて、高校生が日南町との関わりを持ち始めてきた努力を評価している。</p> <p>また、日野郡鳥獣対策協議会は平成25年12月に発足。現在は4名の隊員で、有害鳥獣の対策のための効果的な指導にあたるとともに、地域からの要請に応じた捕獲活動と定期パトロールにより被害拡大の防止に努めており、今後も協議会を中心に農家と連携し、有害鳥獣対策に取り組んでいく。</p>
---	--

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

近藤仁志議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 林業の成長産業化における、既存の事業の現状と方向性について</p> <p>①大建工業(株)が新製品開発に向け町内で試験操業されているが、進捗状況と今後の事業展開計画は、そしてそれに対する日南町の対応は。</p> <p>②昨年末の閉鎖も検討された(株)ウッドカンパニーのその後の経営内容と今後の取り組み方針は。</p> <p>2. 指定管理委託について</p> <p>①来年度より、道の駅にちなみ日野川の郷が指定管理に移行され、業者の募集も開始される運びとなっている。既に指定管理に出されている施設と、町有の施設でありながら指定管理の手法を取られていない施設があるがその選択基準は。</p> <p>②管理委託料も施設ごとに算定基準に違いがあると感じられるが、算定基準は設けてあるか。</p> <p>3. 公共交通とタクシー助成について</p> <p>①おでかけタクシー助成とバスダイヤ変更に伴う評価と来年度の方針は。</p>	<p>1.</p> <p>①町内での法面緑化試験、りんご農家及びトマト農家での土壌改良試験、町外の堆肥化施設での水切り資材としての活用試験、マツ林での土壌改良試験などを実施。今後は、これら実証試験をベースに販売強化を図るとのこと。町は、林野庁のモデル事業により、事業支援を行う。</p> <p>②本年度は、受注増により、対前年度比50%増の事業収入が見込まれるとのこと。また、受注要望に応えるため、低温乾燥機や四面自動鉋機といった機械設備への投資も行われている。</p> <p>2.</p> <p>①自治法改正後の施設ごとの検討において、直営で管理すべき施設と、民間に任せの方が効率的に運営できるものを判断した。</p> <p>②町で維持管理すべき費用を基準として委託料を定めている。</p> <p>3.</p> <p>①タクシー助成券の交付率は10月末現在で51.3%、利用率は33.7%であり、評価のためには利用促進を図る必要がある。バスダイヤの変更に伴う影響については、現在把握している課題を中心に精査中である。変更後8ヶ月が経過したが、全体的にもう少</p>

し様子を見る必要があるものと考えている。  
来年度は、引き続きタクシー助成を行い、実証を継続していく方針。

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

恵比奈礼子議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 人権推進の取り組みについて</p> <p>①あらゆる人権問題に取り組むということで、人権センターを設置したが、センターを設置することで当初の目的がどれくらい達成できたと考えているのか。</p> <p>②役場庁舎と距離が離れているが、庁内各課との連携はどのように図られているのか。</p> <p>③男女共同参画についてどのように取り組んできたのか。</p>	<p>1.</p> <p>①今までの事業をこなしているのが現状で、まだ十分に機能しているとは言えない。今後、本来の目的に沿うよう施策を検討する。</p> <p>②不十分な点はあるが、小地域懇談会など役場の職員も人権センターと連携し推進している。</p> <p>③計画等について、取り組み、推進ができていない。早急に取り組みたい。</p>

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

荒木博議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. エネルギーの地産地消について</p> <p>①今後の再生可能エネルギーの事業計画について伺う。</p> <p>②平成30年4月より稼働予定である新石見小水力発電所の修復工事代を入れた収支見込みについて伺う。</p> <p>③家庭用発電設備等導入推進補助金の対象事業に現実的ではないと思われるものがあるが、見直し検討について伺う。</p> <p>2. 商工業施策について</p> <p>①事業承継アンケートで、日南町事業者の44.8%が廃業予定という結果を受けての対策を問う。</p> <p>②後継者育成のためにチャレンジ企業支援の充実や、新しい支援制度の必要性を問う。</p>	<p>1.</p> <p>①小規模で分散型、いわゆる家庭レベルでの取り組みを増やしていく。</p> <p>②当初建設費の減価償却が終了する2036年に黒字に転換する見込み。</p> <p>③鳥取県の間接補助メニューに準拠していることは今後も踏襲していく。</p> <p>2.</p> <p>①商工会と情報交換や連携を取りながら具体的事案に対して支援策等について検討していく。</p> <p>②支援の充実についても、商工会と連携しながら検討していく。</p>



日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

大西 保議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 企業進出について</p> <p>①地元説明会を8月と11月の2回開催されたが、地元同意が得られていない。地元同意を得るために何が課題で、どのように回答され、同意を得ようと考えているのかを伺う。</p> <p>2. 環境の取り組みについて</p> <p>①第2次日南町環境基本計画及び実行計画の期間は、平成25年度から平成29年度の5年間であるが、3次計画を策定されるのか伺う。</p> <p>②計画の策定をされる場合、色々な環境課題において、取り組むべく最重要課題は何かを伺う。</p> <p>③一般廃棄物（ごみ）処理（見直し）基本計画は、平成20年度から平成29年度までの10年間であるが、この計画を再度策定されるのかを伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①地元からは、町のスタンスと環境整備が問われている。丁寧な説明と熱意をもって同意を得たいと考えている。</p> <p>2.</p> <p>①本年度策定にむけて環境審議会での検討を開始している。</p> <p>②安全で文化的な生活を営む住みよい町の実現のために、行政としては自然と産業の共生を目指す取り組みが重要と考える。</p> <p>③「一般廃棄物処理計画」は、本年度策定に向けて作業を進めている。</p>

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

坪倉勝幸議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 公共交通総合計画について</p> <p>①現時点のタクシー助成の利用状況について伺う。</p> <p>②交通空白地帯の解消のためのデマンドバスのドア・ツー・ドア化導入の見通しを伺う。</p> <p>③公共交通総合計画詳細版は、いつ、どのように策定されるのか伺う。</p>	<p>1.</p> <p>①10月31日現在、交付対象1,239名中、636名が交付を受けられ、利用枚数は10,726枚、累計で2,525名が利用されている。</p> <p>②デマンドバスのドア・ツー・ドア化の導入には、タクシー事業者との共存などの課題への対応に、ある程度の期間を要すものと考えているが、できる限り早期導入を目指し現在検討している。</p> <p>③現在取り組んでいる実証的見直しにより明らかとなった課題を整理した後の策定を予定しているが、実証期間はあと1年程度を見込んでおり、平成31年度末を目途に策定したい。</p>
<p>2. 木質バイオマス資源の持続的活用による再生可能エネルギー導入計画について</p> <p>①計画を策定していないとのことであるが、計画策定事業との整合性をどう捉えられているのか伺う。</p> <p>②木材のカスケード利用やマテリアル利用との関係をどのように考えられているか伺う。</p>	<p>2.</p> <p>①木質バイオマスの具体的な利用を構想した段階で改めて策定に向けた取り組みを開始する。</p> <p>②本町が掲げる木材のカスケード利用は、「派生した連続活用」との意で用いており、木材の持つ素材としての可能性を余すことなく引き出すため、未利用部材を次の用途に回して活用することを目的に、樹木から根株までの全てをマテリアル利用、所謂、原材料利用することを命題としている。</p>
<p>3. 農林業研修生制度について</p> <p>①農林業研修内容および研修生募集要項をどのように変更されたか伺う。</p>	<p>3.</p> <p>①農業研修生の基礎研修として畜産を追加、研修費用を全国平均の166千円に増額し、新たに、</p>

<p>4. 古民家の活用について</p> <p>①旧木下家の管理状況について説明を求める。</p> <p>②旧木下家の今後の活用についてどのように計画されているのか伺う。</p> <p>③古民家体験等活用事業の詳細内容と進捗状況について伺う。</p>	<p>研修費用として20千円を徴収することとした。また、従来から実施していた空き家バンク利用者への助成と研修修了者への報奨金の支払いを明記した。</p> <p>4.</p> <p>①8月の権利譲渡後、清掃、見学対応、経費等も含めて観光協会を中心に管理している。</p> <p>②譲渡後3回のフリマーケットを行い、計500名近い参加者があった。施設の特徴や環境を活かした有効活用について宿泊施設等も含め検討中。</p> <p>③旧木下家の維持管理と活用につなげるモデル的事業の実施、そして現在活用中の古民家等との連携関係の構築に取り組んでおり、効果的な情報発信につなげる。</p>
---	---

日南町議会議長 村上正広様

日南町長 増原 聡

久代安敏議員 一般質問答弁要旨

質 問 要 旨	答 弁 （要旨を箇条書きしてください）
<p>1. 国民健康保険制度について</p> <p>①国保の県単一化にともなう鳥取県国民健康保険運営方針による保険料(税)の第3回試算額によると、日南町は平成28年度比較で151%の増額となっている。このことについて分かりやすい説明を求める。</p> <p>②国・県は、国保税の激変緩和のために財源措置をすることになっているが流動的で不確定な要素もある。今年度は、国保財政調整基金5,700万円を取り崩しているが、今後の基金の活用についてあらためて問う。</p> <p>③来年度予算に向けて国保税についての基本的な考え方を問う。</p>	<p>1.</p> <p>①近年、医療給付費が高い状況で推移していることが一番の要因。</p> <p>②税込でまかなえない部分は基金を活用していく方向。</p> <p>③全体の税率は従来どおりとする方針に変わりなく、国保税の算出も当面は所得、資産、均等、平等の4方式で行う。</p>
<p>2. 農林業研修制度について</p> <p>①平成21年度から始まった農林業研修制度は、来年度が10年の節目となる。この事業が日南町にとってどのような成果や課題があったのかをあらためて分析・評価し、今後活かす必要があると考えるが。</p>	<p>2.</p> <p>①平成21年度からこれまでに受け入れた研修生は、農業研修生31名、林業研修生20名で、総数は51名。内、町内に定住した農林業従事者は22名、他産業従事者は2名、研修生4名。研修生51名の内、研修修了者及び研修継続の者は36名、その定住率は77.8%で、町の新たな農林業の担い手として活躍している。</p>
<p>3. 米政策の大転換について</p> <p>①政府は来年度から米の生産目標数量の配分をやめることを決定しているが、日南町の農業再生協議会ではどのような対応をしていく考えか。</p> <p>②経営安定対策交付金(10a)7,500円の廃止を</p>	<p>3.</p> <p>①鳥取県では、鳥取県農業再生協議会が中心となり、平成30年度以降も、需要に応じた米の生産に取り組むこととしている。日南町農業再生協議会もそうした県の米政策を踏まえつつ、町産米の品質向上を目指していく。</p> <p>②平成29年度の交付金支払い予定対象者は</p>

<p>決定している。これによる稲作農家の減収額の試算を明らかに。</p> <p>4. 小中学生の就学奨励事業と学校給食費の助成について</p> <p>①文部科学省は今年3月31日、生活保護世帯と同水準の要保護世帯の小中学生への「入学準備金」(就学援助)を増額し、支給は小学校入学前も可能だとする通知を都道府県教育委員会に出しているが、日南町教育委員会はどうか対応しているか。</p> <p>②県内外で学校給食費の無償化や一部助成が広がっている。子育て支援の拡充のためにも是非とも実現を求め。</p> <p>5. 人権センターのあり方と生涯学習について</p> <p>①現在人権センターが行っている事業の内容は、社会教育や生涯教育が主なものであり、人権問題を学習する機会と学習権を広げるためにも、所管を教育委員会に移管するのが適当だと考えるがどうか。</p> <p>②部落差別の解消の推進に関する法律(平成28年12月16日施行)の参議院法務委員会における附帯決議(平成28年12月8日)についての見解を求め。</p> <p>6. あさひの郷について</p> <p>①現在閉鎖されているグループホームあさひの郷を有効利用していくのが喫緊の課題であるが、どのように検討されているか。</p>	<p>612人、交付金支払い予定額は、50,028千円で、1人平均82千円の減収となる。</p> <p>4.</p> <p>①平成29年度には要保護世帯の新入学児童・生徒はなし。平成30年度は、対象世帯があれば、国の基準どおりの支給を考えている。入学前の支給については、検討中。</p> <p>②給食費の無償化や一部助成については、様々な観点から協議し、引き続き議論を行っていきたい。経済的負担軽減による子育て支援という観点から、高等学校等の教科書の無償化を実施している。</p> <p>5.</p> <p>①人権センターは人権を擁護するための啓発や人権団体の支援等、幅広い取り組みを他課と共に連携して進めている。全庁的に進めるためにも総務課所管が適切であると考えている。教育委員会は、今後とも人権センターと連携を図りながら人権教育を進めていきたい。</p> <p>②過去の民間運動団体の程度を超えた言動等は差別の解消を阻害すると考えている。また、教育及び啓発については、新たな差別を生むことのないよう実施する。</p> <p>6.</p> <p>①認知症高齢者グループホームあさひの郷(定員2ユニット18人)は、平成22年度に整備したが、指定管理者である日南福祉会の職員不足のため、平成29年8月1日から運営を休止している。</p> <p>整備後7年目であり、利便性の高い立地でもあり、有効活用する必要がある。</p> <p>あさひの郷は、交付金・過疎債を財源として整備しており、10年を経過せず用途変更をする場合、約1億円の一括返還が必要となる。</p>
---	---

一方、日南福祉会が整備されたグループホーム虹の郷は、29年度末で整備後10年となる。あさひの郷を認知症高齢者グループホームとして使用していただき、虹の郷を用途変更していただき、障害者グループホーム・高齢者向け有料老人ホームとして利用できないかを、日南福祉会と協議している。